

はぐくみ

少年育成センターだより

令和5年9月1日

第28号

坂出市少年育成センター
坂出市久米町1-18-20
TEL46-2777
FAX46-7140



【少年育成センターの活動】
～青少年の健全育成と
非行防止を願って～

補導活動
地区補導員や学校関係補導員、少年を守る母の会会員、センター職員等が、日々、市内巡回補導を行っています。

相談活動
子どもたちや保護者の悩みや困ったことについての相談活動を行っています。まずは、「さわやかテレホン」裏面参照をご利用ください。

広報啓発活動
万引き防止のための巡回を実施したり非行防止の啓発キャンペーンに参加したりして非行の未然防止に取り組んでいます。

環境浄化活動
安全・安心な環境づくりのために、危険個所の発見や不審者情報の収集・発信、白ポストによる有害図書回収等を行っています。

関係機関等との連携活動
学校や地域、家庭及び関係機関と積極的に情報交換し、実態の把握に務めながら連携した活動を行っています。

悪ふざけなどの不適切な投稿 〈ネットトラブル事例〉

学校の帰りにS君たちは、制服のまま線路に入り、大はしゃぎで写真を撮影、仲間に見せようとSNSにアップ。あっという間に特定され、学校名や名前が明かされ、警察に通報が…。鉄道営業法違反等の罪で家庭裁判所に送致され、学校には抗議の電話やメッセージが…。



度を越した悪ふざけや悪意の投稿はどうしたらなくなるの？

- やろうという子がいたら**
ルール・モラル違反は厳禁!ダメなものはダメと注意止めよう。
- 投稿を見つけたら**
自分が拡散しない!ネットで広まれば取返しのがつけない大事になると気づかせ削除させよう!
- 写真や動画以外の投稿でも**
誰かになりすまし、ウソやフェイク情報の書き込みなども、不適切な投稿です。

最近では飲食店で不衛生な動画をアップするといった若者の行為など、その時のノリや勢いで撮影し公開してしまうケースが後を絶ちません。いずれも「やってはいけないこと」のはず!ネットで広まれば、あっという間に個人が特定され、罪に問われたり損害賠償請求をされたりすることがあります。いたずら半分でしたことの代償は大きいです。

ワンポイントアドバイス デジタルタトゥーと称されるほどネットに刻まれた情報は半永久的に残る。未来の自分を苦しめることがないように正しい使い方をしよう。

(参考)総務省「インターネットトラブル事例集」2022年度版より

さわやかテレホン

友達関係・いじめ・不登校・心や身体の悩み・学習・家族関係・発達・ひきこもり・携帯・インターネットなど…。

困ったときは、一人で悩まないで、坂出市少年育成センターに相談してください。秘密は厳守します。

☎(0877)46-2777

平日 9:00~17:00(無料)

※専門相談員が、いろいろな相談に応じています。
※保護者・児童・生徒、どなたでも相談OKです。
※電話相談または来所相談です。

ヘルメットをかぶりましょう

自転車に乗るときのヘルメット着用が、令和5年4月から全年齢で努力義務になり、5か月近く経ちました。街中でもヘルメットを着用している人が少しずつ増えてきていますが、まだまだといった状況です。
あなたはヘルメットをかぶっていますか?
自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方は、その約6割が頭部に致命傷を負っています。

(香川県警察本部「交通安全ニュース」より)

交通事故の被害を軽減するため、ヘルメットを着用して頭部を守るようにしましょう。

【ヘルメットの正しいかぶり方】

- 頭のサイズに合ったヘルメットを選びましょう。
- 頭全体を保護できるように水平にかぶりましょう。
- あごひもは、指が1~2本入る程度に調整して、しっかり締めましょう。

～安心安全を願って～地域の皆様の活躍

皆さんを見守ってくれている市民会議・町民会議の方々を知っていますか。

**坂出市青少年健全育成市民会議
金山地区青少年健全育成町民会議**
会長 北 慎一



コロナウイルス感染も少し下火になり、人の動きも活発化の方向になりつつあります。日々地域の環境も変わるなか、気候変動で異変の発生することが予想されます。危険と思われる場所を点検して、子どもたちを水の被害から守るため、水難事故防止の「**ここはあぶない!遊んじゃダメ!**」の看板の設置と、取り換えを行っています。

林田町青少年健全育成町民会議
会長 中條 健朗



林田町では町民会議の発足時から青少年の安全、安心を活動の中心に様々な活動を行っています。具体的には毎月の夜間パトロールや広報車による啓発活動、水難防止看板設置などです。昨年度からは林田小学校4年生を対象に年4回の**防災授業**を始めました。危険な場所のマップ作製や**水害の模擬体験**、**飯ごう炊さん**の体験等、子どもたちが災害から身を守る力や災害時に生きる力をつける活動をしています。



府中町青少年健全育成町民会議
事務局長 吉田 宏明



私たちは、「みんなと顔なじみになりたい」を合言葉に、府中小学生103人の成長を見守っています。**あいさつ運動**では府中町の各種団体の協力を得て、「おはようございます」の声掛けを大切に、活動しています。また**親子工作教室**では夏休みの宿題のお手伝いをして交流しています。さらに、城山登山では、**登山道の道案内**や、サイエンス教室では、親子で不思議な探求の体験活動をしています。



令和4年度 坂出市の不審者情報です!

不審行動	件数	被害者	多発時間帯
声掛け	11件	小学生10人 中学生15人	午後4時～午後5時
無断撮影	3件	小学生 3人 中学生 2人	午後3時～午後7時
つきまとい	1件	小学生 1人	午後6時～午後7時
身体接触	1件	小学生 2人	午後3時40分頃
露出	1件	小学生 不特定	午前7時30分頃
その他	2件	小学生 1人 中学生 2人	午前7時30分頃

※注意!下校時の声掛けがかなり多く発生しています。

⇒2人組男性に「お姉さん」と声を掛けられた。児童が走って逃げると「あっ、逃げた」と再度声を掛けられた。300m先の、こどもSOSの看板がある会社事務所に逃げ込み助けを求めた。(被害はなし)



補導員委嘱式が開催されました!

4月29日(土)、坂出市青少年育成センター補導員委嘱式が本庁2階大会議室で行われました。地区補導員、行政関係補導員、学校関係補導員、常駐補導員、計94名が新たに委嘱されました。(期間は2年間。)

補導員を代表し、市長より委嘱状を金山地区の北慎一さんが受け取りました。

引き続き研修会が行われ、坂出警察署生活安全課の藤井佳子氏より「香川県の少年非行について」の講話があり、刑法犯の少年非行が増加傾向にある現状について話をいただきました。また育成センターの勝浦隆史所長からは、補導活動の目的や補導員としての心得・補導員の声掛けの効果などの説明がありました。

坂出市の青少年の非行未然防止や犯罪抑止につながるよう補導活動に努めます。



坂出市少年を守る母の会

少年を守る母の会・更生保護女性会・保護司会・坂出警察署の約30名が、青少年の非行防止と、心身ともに健全な青少年の育成を願ってキャンペーンを実施しました。

会長 尾崎繁子

ストップ!命を守るため

- 夜遊び・深夜の外出は やめよう
- 自転車のルール 守って
- 万引きは、しない させない
- 未成年の喫煙・飲酒/薬物乱用は、やめよう
- 不審者対策「いかに見すまし」
 - いかない
 - のらしない
 - お教室で静かに
 - すぐ逃げる
 - しらばる

7月は青少年の非行・被害防止 全国強調月間です。

坂出市少年を守る母の会・坂出市青少年育成センター

夏の青少年非行防止 街頭キャンペーン 7・13



令和4年度善行賞 善行はしても、されても、心はずみず。

小学生

財布を拾って駐在所に届け、困っている人を助けた。
毎朝、清掃活動とさわやかなあいさつで全校生を明るく迎えた。

中学生

困っている友だちを助け、学級のために進んで動くことができる。
ボランティア活動に進んで参加し、地域の美化に努めている。

